

東北地本青年部三役で 平和の大切さを学んできました!



青函連絡船とは:

1908年(明治41年)、鉄道連絡船として就航した比羅夫丸から青函連絡船の歴史が始まり、1988年(昭和63年)まで80年間わたり、青森港と函館港を結び、乗客と貨物を運びました。

青函連絡船には、貨物車両を搭載する「車両甲板」があり、鉄道車両が船を通じて海を渡っていましたが、太平洋戦争・青森、函館空襲を受け青函連絡船は全滅しました。

戦争が終わり、1946年(昭和22年)再び航路復興を目指して就航しました。

そして、青函連絡船は、1988年(昭和63年)3月13日まで、多くの人、貨物を運び、青函トンネルに輸送方法が切り替わり、青函連絡船の歴史の幕を閉じました。

東北地本青年部の皆様も 共に平和の大切さを再確認していきましょう!